



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 日機装株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6376 URL https://www.nikkiso.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 甲斐 敏彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 小糸 晋 TEL 03(3443)3711  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 2020年9月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	74,833	△5.2	4,162	17.0	3,863	28.8	2,970	48.2	2,844	49.3	2,456	—
2019年12月期第2四半期	78,956	4.5	3,558	12.3	2,999	8.6	2,003	△4.8	1,905	△6.3	△932	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	39.93	39.88
2019年12月期第2四半期	26.76	26.72

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	267,981	85,092	83,221	31.1
2019年12月期	252,984	83,413	81,537	32.2

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年12月期	—	10.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点で業績予想値を合理的に見積もることが困難であることから、通期連結業績予想を一旦取り下げ、未定といたします。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

詳細については、本日発表の「2020年12月期第2四半期連結累計期間における業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積もりの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	74,286,464株	2019年12月期	74,286,464株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	3,037,928株	2019年12月期	3,067,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	71,233,766株	2019年12月期2Q	71,203,213株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 決算成績の概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、受注高77,108百万円（前年同期比10.2%減）、売上収益74,833百万円（同5.2%減）、営業利益4,162百万円（同17.0%増）、税引前四半期利益3,863百万円（同28.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益2,844百万円（同49.3%増）となりました。

工業部門は新型コロナウイルス感染症拡大による世界経済の停滞を受け、原油・ガス関連の投資計画の中止や延期、航空機の需要急減など、厳しい事業環境が続きました。この結果、インダストリアル事業は受注高が前年同期比で減少しましたが、売上収益は既受注案件の生産・出荷は進捗しましたが、前第3四半期に粉体計測機器事業を売却した影響により、減収となりました。航空宇宙事業はカスケードをはじめとする各製品の販売が当第2四半期に急減し大幅な減収減益となる等、工業部門全体では減収減益となりました。

一方で、医療部門は主力の血液透析事業が堅調に推移したことに加え、新型コロナウイルス感染症対策としてニーズが高まったCRRT（急性血液浄化療法）事業やヘルスケア分野の販売が伸長し、前年同期比で増収増益となりました。

全社では、医療部門の増収が工業部門の減収を補うまでには至らず前年同期比で減収となりましたが、医療部門が営業利益を押し上げたことに加え、工業部門ではインダストリアル事業の営業利益が底堅く推移したこと等により、前年同期比で増益となりました。

## ② セグメント別の状況

(単位：百万円)

	2019年12月期 第2四半期実績	2020年12月期 第2四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	85,908	77,108	△8,800	△10.2%
工業部門	55,780	45,029	△10,751	△19.3%
インダストリアル事業	47,026	39,406	△7,620	△16.2%
航空宇宙事業	8,588	5,323	△3,264	△38.0%
医療部門	30,128	32,079	+1,950	+6.5%
売上収益	78,956	74,833	△4,123	△5.2%
工業部門	49,919	43,513	△6,406	△12.8%
インダストリアル事業	41,141	37,882	△3,259	△7.9%
航空宇宙事業	8,600	5,398	△3,201	△37.2%
医療部門	29,037	31,320	+2,282	+7.9%
セグメント利益	3,558	4,162	+604	+17.0%
工業部門	3,453	2,789	△664	△19.2%
医療部門	1,912	3,206	+1,293	+67.6%
調整額（全社費用等）	△1,808	△1,833	△25	—
税引前四半期利益	2,999	3,863	+864	+28.8%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,905	2,844	+938	+49.3%

※ 工業部門合計欄には、深紫外線LED事業の実績が含まれています。

※ 医療部門には、ヘルスケア分野の実績が含まれています。

※ 2020年1月1日付け組織再編に伴い、精密機器事業本部をインダストリアル事業本部に統合したため、精密機器事業の数値をインダストリアル事業に含めて記載しています。なお、精密機器事業のうち粉体計測機器事業を2019年第3四半期に売却しています。

## 《工業部門》

### ＜インダストリアル事業＞

インダストリアル事業の受注高は39,406百万円（前年同期比16.2%減）、売上収益は37,882百万円（同7.9%減）となりました。

石油関連事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う原油需要の減少や原油価格の急落により、原油・ガス採掘など上流分野の受注が低調に推移しました。原油価格は、産油国の協調減産や各国の経済活動再開による需要回復への期待等から底入れしましたが下落前の水準には戻らず、新規投資案件の中止、延期が発生しています。下流分野である石油化学市場は、需要減速や製品市況悪化による設備稼働率の低下などの傾向が見られ、投資や更新需要の鈍化が見られます。LEWA社は、3月に入り上流分野において受注が急激に落ち込んだため、受注高は前年同期比で減少しましたが、既受注案件の生産・出荷が進み増収増益となりました。

産業ガス・LNG関連事業は、世界経済の停滞やエネルギー価格の低迷を受け、LNG関連施設における投資判断の延期や見直し、プロジェクトの進捗遅れが発生したため、受注高は減少しました。Cryogenic Industriesグループは、既受注案件の生産・出荷により売上収益は前年並みとなりました。

インダストリアル事業全体では、既受注案件の生産・出荷は進捗しましたが、前第3四半期に粉体計測機器事業を売却した影響により、減収減益となりました。

石油関連事業は引き続き厳しい事業環境が続くことが見込まれますが、医薬、食品、半導体などの分野で引合いが増加しており、受注の拡大につながっていきます。また、LNG関連事業も短期的には厳しい状況にあるものの、中長期的なLNG需要の増加を見据えた多くの開発案件が進行しており、今年度中の完工を目指す宮崎のクライオジェニックポンプ試験設備が受注獲得に貢献していきます。

### ＜航空宇宙事業＞

航空宇宙事業の受注高は5,323百万円（前年同期比38.0%減）、売上収益は5,398百万円（同37.2%減）となりました。

米ボーイング社の737MAX生産停止に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う航空機需要急減により、前年同期比で減収減益となりました。航空機産業を取り巻く環境は当面厳しいものと予想されることから、足元の事業環境の変化に応じ、生産面ではコスト削減や効率化を行ないつつ、将来の需要回復を見据え、経営資源の効率化や研究開発の推進による事業体質の強化と、当社の強みを発揮できる新たな分野での展開を図っていきます。

以上の結果、工業部門の受注高は45,029百万円（前年同期比19.3%減）、売上収益は43,513百万円（同12.8%減）、セグメント利益は2,789百万円（同19.2%減）となりました。

## 《医療部門》

### ＜メディカル事業＞

国内血液透析事業は、医療機関への訪問自粛など営業活動の制約を受けたことにより、装置販売は前年同期比で減少しましたが、昨年からの販売を開始した国内の新型装置の引合いは伸長しています。また、透析治療は生命維持治療として継続的に行なわれるため、血液回路や粉末型人工腎臓透析用剤などの消耗品全般の販売は堅調に推移しました。海外市場は、中国向け出荷が前年同期比で伸長し、全体の売上収益増加に寄与しました。この結果、血液透析事業全体では増収増益となりました。

CRRT事業は、新型コロナウイルス感染症による急性腎障害対応へのニーズの高まりにより、主力の中国市場のみならず、欧州市場においても装置・消耗品の販売が増加し、前年同期比で増収増益となりました。

このほか、深紫外線LED技術を活用したヘルスケア分野の販売が伸長しました。特に、空間除菌消臭装置「エアロピュア」は、医療・介護施設に留まらず各方面から引合いが急増しており、安定供給に向けた増産体制の構築を進めています。

以上の結果、医療部門の受注高は32,079百万円（前年同期比6.5%増）、売上収益は31,320百万円（同7.9%増）、セグメント利益は3,206百万円（同67.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は267,981百万円となり、前連結会計年度末に比べて14,996百万円増加しました。現金及び現金同等物の増加が主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は182,889百万円となり、前連結会計年度末に比べて13,317百万円増加しました。借入金の増加が主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は85,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,678百万円増加しました。親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による利益剰余金の増加が主な要因です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、メディカル事業の業績は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による航空宇宙事業の事業環境悪化により、売上収益が前回発表予想を下回りました。

当第3四半期以降も当社を取り巻く事業環境は依然として不透明な情勢が続くと見込んでいます。こうした中、インダストリアル事業は、既受注案件の生産・出荷を確実に遂行し利益の確保に努めていきます。航空宇宙事業は、当第3四半期以降、宮崎工場の減価償却費等固定費の増加による収益性の悪化が見込まれますが、新製法・新素材に関する航空機メーカーとの共同開発など事業の成長に向けた活動を着実に進めています。今後数年間は厳しい事業環境が継続すると予想されますが、コスト削減努力はもとより、将来の需要回復並びに製品や技術に関する顧客の新たなニーズに対応できる事業体質への転換を図っていきます。メディカル事業は、国内市場は新型血液透析装置の新機能及び医療機関経営に対する価値訴求による普及促進、海外市場は市場拡大が続く中国や透析大国である米国を中心に市場開拓を進めます。また、深紫外線LED技術を活用した空間除菌消臭装置「エアロピュア」については急増する引合いに応えるために増産体制の早期確立を進めています。さらに、本格的な事業展開を目指して住宅空調向け製品や車載向け製品の開発など、深紫外線LED技術の様々な分野における用途拡大や、各業界との共同開発を進めていますが、今期業績への寄与は限定的であり、本格的な業績への寄与は来期以降となる見込みです。その他、事業ポートフォリオの見直しや不要不急のコスト削減など事業基盤強化に向けた取り組みを推進しています。

以上の通り、各種事業施策を着実に実行していますが、事業環境の不確実性が高まる中、それら施策の効果の発現時期なども含めて現時点で業績予想値を合理的に見積もることが困難であるとの判断から、通期連結業績予想を一旦取り下げ、未定といたします。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

## 2020年12月期通期連結業績予想値の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	174,000	11,000	10,000	6,000	84.26
今回修正予想 (B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	165,780	12,466	11,381	6,813	95.68

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	20,303	28,875
営業債権及びその他の債権	53,256	47,197
その他の短期金融資産	468	453
たな卸資産	35,523	39,872
未収還付法人所得税	470	487
その他の流動資産	2,997	4,055
流動資産合計	113,020	120,940
非流動資産		
有形固定資産	41,849	45,990
のれん及び無形資産	61,105	60,924
使用権資産	14,696	15,461
持分法で会計処理されている投資	2,947	3,468
長期金融資産	15,392	17,114
繰延税金資産	3,315	3,464
その他の非流動資産	657	615
非流動資産合計	139,964	147,040
資産合計	252,984	267,981

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期借入金	21,680	24,515
営業債務及びその他の債務	28,231	25,270
リース負債	2,550	2,494
その他の短期金融負債	820	907
未払法人所得税等	869	1,465
引当金	1,355	1,328
その他の流動負債	12,117	13,094
流動負債合計	67,625	69,076
非流動負債		
長期借入金	83,050	93,695
リース負債	11,830	12,649
その他の長期金融負債	949	1,004
退職給付に係る負債	3,315	3,330
引当金	284	283
繰延税金負債	2,399	2,770
その他の非流動負債	115	79
非流動負債合計	101,946	113,812
負債合計	169,571	182,889
資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	11,001	10,976
自己株式	△2,519	△2,494
その他の資本の構成要素	1,447	973
利益剰余金	65,063	67,222
親会社の所有者に帰属する持分	81,537	83,221
非支配持分	1,875	1,870
資本合計	83,413	85,092
負債及び資本合計	252,984	267,981

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	78,956	74,833
売上原価	△53,293	△50,384
売上総利益	25,663	24,448
販売費及び一般管理費	△22,366	△21,025
その他の収益	307	835
その他の費用	△45	△96
営業利益	3,558	4,162
金融収益	385	279
金融費用	△1,058	△592
持分法による投資利益	112	13
税引前四半期利益	2,999	3,863
法人所得税費用	△995	△893
四半期利益	2,003	2,970
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,905	2,844
非支配持分	98	125
四半期利益	2,003	2,970
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	26.76	39.93
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	26.72	39.88

## 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	2,003	2,970
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△427	1,234
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	1
合計	△430	1,236
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,357	△1,675
キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	△124	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	△37
合計	△2,505	△1,750
税引後その他の包括利益	△2,935	△514
四半期包括利益	△932	2,456
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△1,069	2,396
非支配持分	137	59
四半期包括利益	△932	2,456

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2019年1月1日	6,544	11,069	△2,544	4,223	△1,800
会計方針の変更による調整額					
2019年1月1日（調整後）	6,544	11,069	△2,544	4,223	△1,800
四半期利益					
その他の包括利益				△430	△2,420
四半期包括利益合計	—	—	—	△430	△2,420
自己株式の取得			△0		
自己株式の処分		1	26		
配当金					
株式に基づく報酬取引		5			
子会社に対する所有持分の変動		△74			
所有者との取引額等合計	—	△68	25	—	—
2019年6月30日	6,544	11,001	△2,518	3,793	△4,221

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2019年1月1日	△572	1,851	59,703	76,624	1,714	78,338
会計方針の変更による調整額			△233	△233		△233
2019年1月1日（調整後）	△572	1,851	59,470	76,390	1,714	78,105
四半期利益			1,905	1,905	98	2,003
その他の包括利益	△124	△2,975		△2,975	39	△2,935
四半期包括利益合計	△124	△2,975	1,905	△1,069	137	△932
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の処分				27		27
配当金			△711	△711	△139	△851
株式に基づく報酬取引				5		5
子会社に対する所有持分の変動				△74	△18	△93
所有者との取引額等合計	—	—	△711	△754	△157	△911
2019年6月30日	△696	△1,124	60,664	74,566	1,695	76,261

当第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額
2020年1月1日	6,544	11,001	△2,519	5,233	△3,108
四半期利益					
その他の包括利益				1,236	△1,647
四半期包括利益合計	—	—	—	1,236	△1,647
自己株式の取得			△0		
自己株式の処分		6	24		
配当金					
株式に基づく報酬取引		△30			
利益剰余金への振替				△25	
所有者との取引額等合計	—	△24	24	△25	—
2020年6月30日	6,544	10,976	△2,494	6,443	△4,755

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ損益	合計				
2020年1月1日	△677	1,447	65,063	81,537	1,875	83,413
四半期利益			2,844	2,844	125	2,970
その他の包括利益	△37	△448		△448	△65	△514
四半期包括利益合計	△37	△448	2,844	2,396	59	2,456
自己株式の取得				△0		△0
自己株式の処分				30		30
配当金			△712	△712	△64	△777
株式に基づく報酬取引				△30		△30
利益剰余金への振替		△25	25	—		—
所有者との取引額等合計	—	△25	△686	△712	△64	△777
2020年6月30日	△714	973	67,222	83,221	1,870	85,092

（4）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
（継続企業の前提に関する注記）  
該当事項はありません。

（重要な後発事象）  
該当事項はありません。